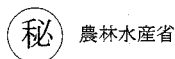


総務省承認No.
承認期限 平成 年 月 日まで

局・事務所	事務所通し番号	階 層

事務所名
出張所名



【基本指標コード】

都道府県	市町村	旧市町村	農業集落	集計単位	調査区	農家

農業構造動態調査
地域就業等構造調査票
(平成13年11月1日現在)

住所	
氏名	電話番号

【1】 認定農業者の概要

1 年齢、性別、世帯上の地位

(1) 年齢、性別

	男	女	年 齢
101	1	2	

(2) 世帯上の地位

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主の子供	世帯主の親	世帯主の孫	その他
102	1	2	3	4	5	6

2 最初の認定を受けた年次

103	平成		年(和暦)
-----	----	--	-------

【2】 経 営 内 容

1 主な経営部門

(1) 農産物販売金額1位の部門

	稲 作	麦類作	雑穀・いも類・豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花木
201	01	02	03	04	05	06	07	08

その他の作物	酪 農	肉用牛	養 豚	養 鶏	その他の畜産	養 蚕
09	10	11	12	13	14	15

(2) 総農産物販売金額に対する1位部門の割合

	6割未満	6割～8割	8割以上
202	1	2	3

2 経営管理について(複数回答)

		簿記記帳	青色申告	経営診断
認定以前から取り組んでいる	203	1	2	3
認定されてから取り組んでいる	204	1	2	3
今後取り組む必要がある	205	1	2	3

3 経営耕地面積及び施設面積

(1) 経営耕地面積

		直近の認定時点				現 在				農業経営改善目標			
		ha				ha				ha			
		a				a				a			
田の経営耕地面積	206					212				218			
うち、借入耕地面積	207					213				219			
樹園地の経営耕地面積	208					214				220			
うち、借入耕地面積	209					215				221			
畑の経営耕地面積	210					216				222			
うち、借入耕地面積	211					217				223			

(2) 施設面積

		直近の認定時点				現 在				農業経営改善目標			
		㎡				㎡				㎡			
施設面積	224					225				226			

4 家畜の飼養頭羽数

		直近の認定時点				現 在				農業経営改善目標			
		万 千 百 頭、羽				万 千 百 頭、羽				万 千 百 頭、羽			
乳用牛	227					232				237			
肉用牛	228					233				238			
豚	229					234				239			
採卵鶏	230					235				240			
ブロイラー	231					236				241			

5 農業所得

		一〇〇万円未満 一〇〇万～二〇〇万 二〇〇万～三〇〇万 三〇〇万～四〇〇万 四〇〇万～五〇〇万 五〇〇万～七〇〇万 七〇〇万～一〇〇〇万 一〇〇〇万～一五〇〇万 一五〇〇万～二〇〇〇万 二〇〇〇万～二五〇〇万 二五〇〇万～三〇〇〇万 三〇〇〇万～五〇〇〇万 五〇〇〇万～一億 一億以上											
直近の認定時点	242	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
現 在	243	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
農業経営改善目標	244	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12

【3】 最初の農業経営改善目標の達成状況 (再認定を受けた者のみ)

1 経営耕地面積及び施設面積

(1) 経営耕地面積

		最初の農業経営改善目標				最初の認定から5年後			
		ha				ha			
		a				a			
田の経営耕地面積	301					307			
うち、借入耕地面積	302					308			
樹園地の経営耕地面積	303					309			
うち、借入耕地面積	304					310			
畑の経営耕地面積	305					311			
うち、借入耕地面積	306					312			

(2) 施設面積

		最初の農業経営改善目標				最初の認定から5年後			
		㎡				㎡			
施設面積	313					314			

2 家畜の飼養頭羽数

		最初の農業経営改善目標				最初の認定から5年後			
		万 千 百 頭、羽				万 千 百 頭、羽			
乳用牛	315					320			
肉用牛	316					321			
豚	317					322			
採卵鶏	318					323			
ブロイラー	319					324			

【4】 目標達成の見通し

		直近の目標の達成の見通し			最初の目標の達成状況(再認定を受けた者のみ)		
		達成できる (達成できた)	ほぼ達成でき る	計画の見直し が必要	達成できた	ほぼ達成でき た	計画を見直し た
目標所得	401	1	2	3	407	1	2
目標労働時間	402	1	2	3	408	1	2
目標経営規模	403	1	2	3	409	1	2
生産方式の合理化	404	1	2	3	410	1	2
経営管理の合理化	405	1	2	3	411	1	2
農業従事の態様等の改善	406	1	2	3	412	1	2

【5】 改善すべき課題と望む支援策

1 目標を達成するために改善すべき課題(複数回答)

	農地の集積 (農地の借入、 購入、土地条 件の改善等)	簿記記帳の実 施等による経 営と家計の分 離	納税申告等 経理全般の 能力向上	各種資金の 借り受け	負債の処理	販売経路の 拡大、多角 化	高収益作目 ・品種の導 入	自家農産物 加工の拡大
501	1	2	3	4	5	6	7	8
	新たな生産 技術の導入	農業経営の 法人化	農業用機械 ・施設の拡 充	雇用労働力 の確保	就業条件(休 日、給与、労 働時間等)の 改善	家族経営協 定の締結	その他	課題はない
	9	10	11	12	13	14	15	16

2 目標を達成するために望む支援策(複数回答)

	無利子、無 担保による 資金の融資	農業生産基盤 の整備に関す る補助事業の 充実・強化	農業用機械・ 施設に関する 補助事業の充 実・強化	各種情報提供 の充実 (新品種、新技 術、マーケティング情報等)	簿記講習の充 実等、経理能 力向上のための 支援	経営診断、 経営分析の 実施	農業経営の 法人化に関 する支援	経営安定の ための措置 の強化	望む支援策 はない
502	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【6】 利用した支援措置（複数回答）

	農業委員会 による農用 地の斡旋	税制上の特例 措置(減価償却 費の割増し 計上)	農業経営基盤 強化資金 (スーパール資 金)の借入	農業経営改善 促進資金(スー パース資金)の 借入	認定農業者 育成推進資 金の借入	各種経営研 修会への参 加	農業生産基 盤の整備に 関する支援	農業用機械・ 施設のリース に関する支援	稲作経営安定 対策による補 填金の交付
601	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【7】 地域農業の活性化のための地域活動（複数回答）

（中核的存在として取り組んでいる活動）

		地域農業の維 持発展を目的 とした集落営 農や農作業の 共同化	地域農産物 の販売経路 の拡大・多 角化	特産物の生 産、加工、 販売などの 集团的取組	環境保全型 農業への集 团的取組	地場産業の 振興のため の取組	都市と農村 の交流	伝統文化の 保存	農地、農業 用施設の保 全・整備
認定以前から取り組んでいる	701	1	2	3	4	5	6	7	8
認定されてから取り組んでいる	702	1	2	3	4	5	6	7	8
今後取り組む必要がある	703	1	2	3	4	5	6	7	8

【8】 今後の意向

1 今後の農業経営規模の意向

	目標達成後、更 なる規模拡大を 図りたい	現段階の農業経 営改善目標を達 成したい	目標達成は困難 であり、現在の 規模を維持した い	規模を縮小した い	経営移譲したい	農業をやめたい
801	1	2	3	4	5	6

2 規模拡大の方法
（複数回答）

	経営耕地規模の拡大					園芸用施 設の新設 ・増設	家畜の飼 養頭羽数 の拡大	高収益作 目・品種 への転換	農作業受 託の拡大	その他
	購入	借入	貸付地の 返却	耕作放棄 地の復旧	その他					
802	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3 農地の団地化の意向

	すでに団地 化している	今後団地化 を進める	団地化を進 めたいが困 難	団地化の必 要はない
803	1	2	3	4

4 団地化が困難な理由
（複数回答）

	交換分合が できない	隣接農地の 貸し手がい ない	隣接農地の 売り手がい ない	その他
804	1	2	3	4

総務省承認No. 23044
承認期限 平成14年10月31日まで

秘 農林水産省

局・事務所	事務所通し番号	階 層

事務所名
出張所名

【基本指標コード】

都道府県	市町村	旧市町村	農業集落	事業体番号

農業構造動態調査
地域就業等構造調査票
－ 農業生産法人及び協業経営体 －
(平成14年8月1日現在)

事業体名		
代表者氏名	代表者の住所	電話番号

【1】 事業体の経営基盤

- 1 組織形態を記入してください。
(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

101	法 人				非 法 人	
	農事組合		会 社		任意組合	そ の 他
	法 人	株 式 有 限 公 司	合 名 合 資 公 司	合 資 公 司		
	1	2	3	4	5	6

- 2 経営耕地面積等について現在と10年前を記入してください。
(設立後、10年未満の事業体については、発足時点で記入してください。)

		現 在		10 年 前	
田	102		ha	106	ha
樹 園 地	103		ha	107	ha
畑	104		ha	108	ha
施 設 面 積	105		m ²	109	m ²

- 3 家畜の飼養頭羽数について現在と10年前を記入してください。
(設立後、10年未満の事業体については、発足時点で記入してください。)

		現 在		10 年 前	
肉 用 牛	110		頭	115	頭
乳 用 牛	111		頭	116	頭
豚	112		十 頭	117	十 頭
採 卵 鶏	113		千 羽	118	千 羽
ブロイラー	114		千 羽	119	千 羽

4 営農活動の範囲

- (1) 営農活動の範囲ごとに、農作業を行っている団地数について、現在と10年前を記入してください。
(設立後、10年未満の事業体については、発足時点で記入してください。)

		集 落 内		集落以上 旧市区町村 以内		旧市区町村 以上市区町 村以内		市区町村以 上 都道府県内		都道府県外
現 在	120		121		122		123		124	
10年前	125		126		127		128		129	

- (2) 最も遠い団地までの移動距離と時間について、現在と10年前を記入してください。

		実距離		時 間	
現 在	130		km	132	時間
10年前	131		km	133	時間

【2】労働力の状況

- 1 過去1年間に従事した従業員数を記入してください。

		男	人(人日)	女	人(人日)
役員(実人数)	201			205	
構成員(実人数)	202			206	
常雇(実人数)	203			207	
臨時雇(延べ人日)	204			208	

- 2 常雇や臨時雇への今後の依存度について、記入してください。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	高まる	現状維持	低くなる
209	1	2	3

依存度が高まる理由を記入してください。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	現状での労働 力や技術不足 を補うため	経営部門の拡 大を図るため	新規部門の開 始を図るため	販売対策の強 化を図るため
210	1	2	3	4

3 研修の状況

- (1) どのような研修を行っていますか。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	事業体内の研修	国内先進地の視 察	資格取得の支援	研修セミナー等 の派遣
211	1	2	3	4

- (2) 研修生を受け入れたことがありますか。

(該当するものに○を記入します。)

受け入れていない		(過去1年間の延べ人 数を記入してください。)
受 け 入 れ た		212

【3】資金の利用状況

- 1 現在の組織形態となつて以降の機械・施設等の設備資金の調達は、どうされましたか。
その割合を整数で記入してください。

301	自 己 資 金		}	303	補 助 事 業	
302	そ の 他 の 資 金			304	リ ー ス 事 業	
	計	10割		305	制 度 資 金	
				306	農 協 の 独 自 資 金	
				307	市 中 銀 行	
					計	10割

- 2 農業生産資材等の短期運転資金の調達は、どうされていますか。(直近の会計年度)
その割合を整数で記入してください。
(該当するものに○を記入します。)

借入していない		}	308	制 度 資 金	
借入している			309	農 協 の 独 自 資 金	
			310	市 中 銀 行	
				計	10割

【4】経営の状況

- 1 該当する事業内容を記入してください。
(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	農産物の 加工食品	工芸品 の製造	観光農園・ 交流事業	飲食事業	農作業の 請負
401	1	2	3	4	5

- 2 農産物等の販売先及び契約栽培をしている場合の相手、販売先を記入してください。
(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	農 協	市 場	に 接	仲 卸 ・ 社	小 売 店 (スーパーなど、 生協を除く)	生 協	加 工 業 者	消 費 者 への直接 販 売
402	販売先	1	2	3	4	5	6	7
403	契約栽培先	1	2	3	4	5	6	7

- 3 事業活動で得た総収入は、どのくらいですか。(直近の会計年度)
(農産物・加工食品の販売額、農作業の請負・観光農園等の料金)
総収入とは、肥料代、農薬代、人件費等の諸経費を差し引く前の金額をいいます。
(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

404	なし	1	1000 ～ 2000	6
	100万円未満	2	2000 ～ 3000	7
	100 ～ 300	3	3000 ～ 5000	8
	300 ～ 500	4	5000 ～ 1億円	9
	500 ～ 1000	5	1億円以上	10

【5】法人化の効果及び意向

1 法人の方に伺います。

法人化して大きな効果があったのは、次のうちどれですか。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	対外的な信用 力が向上した	農地の取得が 容易になった	給与、労働時 間、休暇など の労働条件が 明確化した	税制面での優 遇措置が受け られた	補助事業・リ ース事業が受 けやすくなっ た	制度資金の確 保が容易にな った	人材の確保が 容易になった
501	1	2	3	4	5	6	7

2 法人以外の方に伺います。

法人化の意向はありますか。

(該当するものに○を記入します。)

法人化したい ☐

法人化しない ☐

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	当初から任意 組合のままで 運営を決定	法人経営のリ ーダーの確保 が困難	法人化後の経 理、労務管理 が負担	法人化後の社 会保険の負担 増	法人化の手続 きが煩雑	税制上のメリ ットがない
502	1	2	3	4	5	6

【6】今後の経営の展開方法

1 規模拡大の意向を記入してください。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	拡大を図りたい	現状を維持したい	規模を縮小したい
601	1	2	3

規模拡大の方法を記入してください。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	経営耕地の 購入	経営耕地の 借入	農作業請負 の拡大	園芸施設の 新設・増設	家畜の飼養 頭羽数の拡 大
602	1	2	3	4	5

2 今後の経営発展のための展開方法として考えているものがあれば、記入してください。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	高収益作物・ 品種への転 換	農産物等の ブランド化	新たな生産 技術の導入	経営診断・経 営分析手法 の導入	納税申告等 の経理全般 の能力向上	自己資本の 強化に向け た負債の整 理	農産物加工 事業への進 出	消費者との交 流の拡大
603	1	2	3	4	5	6	7	8

【7】経営発展のために必要と思われる支援策を記入してください。

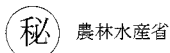
(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	農地の幹 旋、利用調 整の推進	保証人や担 保不足の対 策	資金の円滑 な融資	税制支援	機械・施設 等のリース 対象資材の 拡大	機械・施設 導入時の資 金助成	価格変動に 対応する所 得安定措置	土地基盤整 備の負担軽 減	新技術・新 作物の開 発・普及	人材確保の ための支援 策
701	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

総務省承認No. 23045
承認期限 平成14年10月31日まで

局・事務所	事務所通し番号	階層

事務所名
出張所名



【基本指標コード】

都道府県	市町村	旧市町村	農業集落

農業構造動態調査
地域就業等構造調査票
－ 集落一農場型営農組織 －
(平成14年8月1日現在)

集落営農組織名

代表者氏名	代表者の住所	電話番号
-------	--------	------

【1】 集落営農の概要

1 集落営農の開始年次を記入してください。

	昭和	平成	
101	1	2	年(暦年)

2 集落営農の規模を記入してください。

		現在		設立時
集落営農に参加している世帯数	102	戸	106	戸
うち、農家数	103	戸	107	戸
集落営農が行われている耕地面積(実面積)	104	ha	108	ha
うち、田の耕地面積(実面積)	105	ha	109	ha

3 集落営農は、どのような目的で設立しましたか。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	大区域ほ場整備事業の実施のため	集落内の土地利用調整のため	農産物の一元的な販売のため	耕作放棄地等の防止による農地の維持・管理のため	共同機械の導入による低コスト生産のため	農地や農作業を集積し、担い手を育成するため	共同作業・共同購入による経営の効率化のため	集落機能の維持及び集落の活性化のため
110	1	2	3	4	5	6	7	8

4 規約では、どのような事項について取り決めを行っていますか。

(規約に記載されているものすべてを○で囲みます。)

	組織体制に関する事項	役員の選出・議決に関する事項	事業内容(生産、加工、販売等)に関する事項	配当金の配分に関する事項	構成員の出役方法に関する事項	作業料金に関する事項	雇用者の賃金に関する事項	集落営農の加入・脱退に関する事項
111	1	2	3	4	5	6	7	8
	栽培協定に関する事項	集団転作の土地利用に関する事項	機械・施設の利用・運営に関する事項					
	9	10	11					

【2】 集落営農の労働力

過去1年間の出役者数(実数)を記入してください。

	男						女									
			オペレーター						オペレーター							
計	201			人	207			人	213			人	219			人
農 業 が 主	202			人	208			人	214			人	220			人
認定農業者	203			人	209			人	215			人	221			人
勤 務 が 主	204			人	210			人	216			人	222			人
自 営 業 が 主	205			人	211			人	217			人	223			人
そ の 他 が 主	206			人	212			人	218			人	224			人

【3】 資金の利用状況

- 1 現在の組織形態となって以降の機械・施設等の設備資金の調達は、どうされましたか。
その割合を整数で記入してください。

301	構成員の拠出金	
302	その他の資金	
	計	10割

303	補助事業	
304	リース事業	
305	制度資金	
306	農協の独自資金	
307	市中銀行	
	計	10割

- 2 農業生産資材等の短期運転資金の調達は、どうされていますか。(直近の会計年度)
その割合を整数で記入してください。

(該当するものに○を記入します。)

借入していない	
借入している	

308	制度資金	
309	農協の独自資金	
310	市中銀行	
	計	10割

【4】 集落営農の取組状況

- 1 集落営農が関連する農業集落で販売目的で作られている作物等と、集落営農で取り組んでいる作物等は何ですか。

また、販売収入をプール計算している作物等と転作対応で作っている作物は何ですか。

(該当する番号すべてを○で囲み、その内、過去1年間の販売金額が最も多い部門(農産加工品を除く)の番号を「主な作物」の欄に記入してください。)

		水稲・ 陸稲	麦類	豆類	雑穀	いも類	野菜	果樹	その他の 作物	農産加 工品	主な 作物
401	集落営農に関連する農業集落で販売を目的として作っている作物等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
402	上記のうち、集落営農で取り組んでいる作物等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
403	集落営農で取り組んでいる作物のうち、販売収入をプール計算しているもの等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
404	集落営農で取り組んでいる作物のうち、転作対応で作っているもの	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

2 集落営農で利用している機械の所有形態は、どうなっていますか。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	すべて集落営農組織で所有	構成員の個人所有と集落営農組織所有の両方	代表者1人が個人所有	すべて構成員個人が所有
405	1	2	3	4

3 集落営農で取り組んでいる生産物の出荷は、どのようにしていますか。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	構成員個々で出荷	集落営農組織として(代表者名など)出荷	構成員個々と集落営農組織としての両方
406	1	2	3

4 集落営農で取り組んでいる作物収入に係る税務申告は、どのようにしていますか。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	構成員個々で申告	組織として一括して申告
407	1	2

5 営農活動で得た総収入は、どのくらいですか。(直近の会計年度)
(農産物・加工食品の販売額、農作業の請負・観光農園等の料金)

408	総収入					万円
409	出役金の総額					万円
410	配当金の総額 (出役金を除く。)					万円

6 次に示す作業の出役金の支払額は、何を基礎に決定していますか。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

		作業時間	作業面積	その他
411	耕起	1	2	3
412	防除	1	2	3
413	収穫	1	2	3

7 配当金(出役金以外)は、どのような方法で配分していますか。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	各農家の農地面積に応じ て配分	各農家の農地面積に反収 を加味して配分	その他
414	1	2	3

【5】 集落営農によって、どのような効果がありましたか。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	農地の維持・管理 (耕作放棄地の防 止)ができた	作業の共同化資材 の共同購入等によ り生産コストの軽 減ができた	機械・施設投資が 容易になった	制度資金活用が容 易になった	農業の担い手の育 成・確保ができた	農産物の販路の拡 大ができた
501	1	2	3	4	5	6

	新規作物の導入が 容易になった	加工食品への取り 組みができた	直販や体験農園等 の交流ができた	集落における連帯 感の醸成、集落活 動の活性化が図ら れた
	7	8	9	10

【6】 集落営農が直面している問題点は何ですか。

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	参加農家数の 停滞	ほ場条件が悪 い	出役等の作業 の配分調整が 困難	構成員の高齢 化	農業用機械、 施設の更新	資金が不足	構成員の合意 形成が困難
601	1	2	3	4	5	6	7

【7】 集落営農の展開方向

1 集落営農組織の拡大について、どのように考えていますか。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	現在の組織規 模を維持	集落全員の参 加型への拡大	近隣集落との 統合による広 域化
701	1	2	3

2 集落営農の今後の展開について、どのように考えていますか。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

	現状の集落営農体制を維持 する	集落営農を維持しつつ、作 業を組織内の特定の者（認 定農業者等）に集中する	集落営農を止め、組織内の 特定の者（認定農業者等） に営農を集中する
702	1	2	3

3 法人化の意向はありますか。

(該当するものに○を記入します。)

法人化したい	☐
--------	--------------------------

法人化しない	☐
--------	--------------------------

(該当する番号すべてを○で囲みます。)

	当初から任意 組合のままで 運営を決定	法人経営のリ ーダーの確保 が困難	法人化後の経 理、労務管理 が負担	法人化後の社 会保険の負担 増	法人化の手続 きが煩雑	税制上のメリ ットがない
703	1	2	3	4	5	6